アレクサンドル・ネフスキー（1938）

ALEXANDER NEVSKY

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ソ連
色彩 B&W
時間 108分
初公開日 1962/12/29
公開情報 東和

【解説】

１３世紀、モンゴルとの戦いで疲弊しきっていたロシアにゲルマン騎兵団が侵攻し、残虐な戦いぶりで緒戦を勝利におさめていた。そこで憂国の民衆は、スウェーデンを屈しさせたノヴゴドロゴ公アレクサンドル・ネフスキーを将に迎え、ゲルマンとの決戦に臨んだ。エイゼンシュテイン初のトーキーで、クライマックスの計算し尽くされたチュード湖上のシークエンスは全体の三分の一にもあたり、壮麗無比の迫力。プロコイエフの音楽と有機的に結びついた一大映像シンフォニーとなっている。湖の氷が割れゲルマン軍が湖水に呑まれていく場面も壮絶。美しい少女オリガを巡っての騎士ガブリーロとワーシカの争いなどのアクセントもあるにはあるが、ほとんど主役は甲冑に身を固めた何千ものエキストラである。巻末に掲られる警句“剣を持って攻める者あらば……云々”でわかる通り、間近に迫ったナチ侵略への抵抗プロパカンダ映画で、いささか生硬なのが難。

【クレジット】

監督	セルゲイ・Ｍ・エイゼンシュテイン	Sergei M. Eisenstein
	ドミトリー・ワシーリエフ	Dmitri Vasilyev
脚本	ウラジミール・ナウーモフ	Vladimir Naumov
	セルゲイ・Ｍ・エイゼンシュテイン	Sergei M. Eisenstein
	ピトートル・Ａ・パブレンコ	
撮影	エドゥアルド・ティッセ	Eduard Tisse
音楽	セルゲイ・プロコフィエフ	Sergei Prokofiev
出演	ニコライ・チェルカーソフ	Nikolai Cherkasov
	ニコライ・オフロプコフ	
	ドミトリ・オルロフ	
	ワシーリー・ノヴィコフ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.